

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-107	Year Month Day Time 2017 年 5 月 4 日 12 : 10
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
開志国際	<table border="1"> <tr><td>24 1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>18 2nd</td><td>27</td></tr> <tr><td>12 3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>17 4th</td><td>21</td></tr> <tr><td colspan="2">E P</td></tr> </table>	24 1st	19	18 2nd	27	12 3rd	9	17 4th	21	E P		中部大学第一
24 1st	19											
18 2nd	27											
12 3rd	9											
17 4th	21											
E P												
71 ●		76 ○										

主審:Referee
北沢岳夫 宮城
副審:Umpire
小川裕之 秋田
及川 学 岩手
テーブルオフィシャル:Table officials
能代工業

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	伊藤 領	CAP	0	0	0	0	0	4	×	星野 京介	CAP	11	3	1	0	5
5	×	中山 星磨		13	0	6	1	4	5	×	坂本 聖芽		33	7	2	8	1
6		高嶋 淳次		-	-	-	-	0	6	／	張本 正登		3	0	1	1	1
7		山口 蓮		-	-	-	-	0	7		植木 将太郎		-	-	-	-	0
8		四竈 純		-	-	-	-	0	8	／	Boubacar N'diaye		1	0	0	1	2
9		津田 優弥		-	-	-	-	0	9	×	中村 拓人		19	0	5	9	4
10	／	中澤 嶺		0	0	0	0	1	10	／	青木 遥平		3	1	0	0	1
11	／	小栗 瑛哉		0	0	0	0	1	11	／	矢澤 樹		0	0	0	0	0
12		清水 瑠衣		-	-	-	-	0	12	×	小澤 幸平		4	0	2	0	3
13	×	和田 蓮太郎		18	1	6	3	4	13		小林 拓光		-	-	-	-	0
14	×	JOOF YUSUF		12	1	3	3	3	14		仲宗根 弘		-	-	-	-	0
15	／	BABACARR. S NYASSI		2	0	1	0	2	15	×	Batoumani Coulibaly		2	0	1	0	4
16	×	小池 文哉		18	5	0	3	3	16		赤見 駿		-	-	-	-	0
17	／	吉川 瑠		8	1	1	3	2	17	／	井戸 光邦		0	0	0	0	0
18		相馬 迅		-	-	-	-	0	18		深田 怜音		-	-	-	-	0
コーチ		富樫 英樹						0	コーチ		常田 健						0
アーチ		津野 祐樹						0	アーチ		西村 彩						0
合 計				71	8	17	13	20	合 計				76	11	12	19	21

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	18	25.35%	和田 蓮太郎
1	18	25.35%	小池 文哉
3	13	18.31%	中山 星磨

1	33	43.42%	坂本 聖芽
2	19	25.00%	中村 拓人
3	11	14.47%	星野 京介

Score ranking [Game]

1	33	坂本 聖芽	中部大学第一	2	19	中村 拓人	中部大学第一	3	18	和田 蓮太郎	開志国際
---	----	-------	--------	---	----	-------	--------	---	----	--------	------

大会参加チームの中で1、2の平均身長を誇るチーム同士の激突となった。

1Q、立ち上がり、開志国際は#13和田のステップインで先制すると、高さを生かしたオフェンスリバウンドからペースを掴み始める。#4伊藤が負傷退場するアクシデントがあったものの、#16小池の連続3Pなどで一時10点差にリードを広げる。対する中部大は開志国際の2-3ゾーンを攻めあげてターンオーバーを連発するものの、それでも果敢にドライブをし続けてファウルを誘い確実にフリースローで加点して食い下がる。24-19開志国際リードで1Q終了。

2Q、開志国際2-3ゾーンの高さの前に思うように得点を重ねられない中部大であったが、速いパス回しからリズムを掴むと#5坂本の5本の3Pなどで一気に逆転に成功する。さらに徐々にリバウンドも取れるようになると流れは中部大に傾き始め、点差が広がり始める。開志国際は終了寸前に#16小池が3Pを沈めるものの42-46中部大が逆転して前半を終了する。

3Q、両チーム共にタイトなディフェンスの前に攻め手を欠き膠着状態となる。互いにシュートまでもって行くもののタフショットが多く散発に終わる。ようやく残り2分を切ったところで開志国際#5中山がバスケットカウントで1点差とし試合が拮抗したまま54-55で最終Qへ。

4Q、中部大は開始1分で0-7のランを見せ一気に突き放す。追いつきたい開志国際は#5中山#13和田のローポストを中心にじわじわと追い上げ、残り5分で再び逆転に成功する。残り1:44中部大#5坂本の3Pで4点差となったところで開志国際はタイムアウトを取り逆転を図るが勝負所で決めきることができず71-76で中部大が勝利した。